

文部科学大臣

林 芳正 様

復興に向けた要望書



平成 30 年 6 月 26 日

福島県富岡町長

福島県富岡町議会議長

宮本皓一

塚野芳美

要 望 書

当町は、昨年4月に帰還困難区域を除き避難指示が解除され、この一年間、ふるさとを未来につなげるため、町内生活に対する不安を払しょくする安全・安心の確保や更なる生活環境の充実、全国各地で生活をせざるを得ない町民への支援など、多岐にわたる復興事業に全力で取り組んできた。

町内で生活する町民も徐々に増えつつある中、本年より帰還困難区域の本格的な再生に着手し、復興に向けた取組を着実にすすめているが、依然としてふるさとで暮らすことに対する町民の不安払しょくには至っていない。

については、当町の実情を認識し、確実な復興施策を講じ、「ふるさと富岡」の本格復興と町民の生活再建を実現するため、次の事項を強く要望する。

記

- 第1 復興予算の確保と復興推進体制の継続**
- 第2 更なる放射線量の低減と迅速な廃棄物処理**
- 第3 被害の実態に即した速やかな賠償と柔軟な対応**
- 第4 魅力ある教育環境整備への総合的な関わりと子育て支援強化**

第1 復興予算の確保と復興推進体制の継続

- 複合災害被災自治体の特殊事情を再認識し、復興・創生期間以降も復興の実現に向けた中長期にわたる復興予算の確保と被災地に寄り添った柔軟な対応をすること
- 復興が成し遂げられるまで復興庁を存続させるとともに、被災地の状況を迅速に把握できるよう現地事務所を設置すること

第2 更なる放射線量の低減と迅速な廃棄物処理

- 除染の長期的目標「追加被ばく線量 年間1ミリシーベルト以下の環境を目指す」とした国の約束と責任を全うすること
- 更なる放射線量の低減に向け、町民の意向や地域の実情に沿った柔軟で徹底したフォローアップ除染をすること
- きめ細かなモニタリング調査を継続するとともに、結果を速やかに町民へ周知すること
- 森林・河川・ため池など未除染地域の除染実施に関する対策方針を速やかに提示すること
- 宅地等に一時保管されている指定廃棄物手続きの簡素化と即時処理対応を図ること
- 改修工事で発生する放射能濃度が基準値未満の高線量産業廃棄物を中間処理業者が受け入れていない現状を踏まえ、法律に基づき速やかな処分を可能とする受け入れ体制を構築すること

第3 被害の実態に即した速やかな賠償と柔軟な対応

- 町民や町内事業者の立場に立った、生活や事業再建のための損害賠償を国は責任もって対応すること
- 個別具体的な事情への対応を含め、被害の実態に見合った的確かつ迅速な賠償について、東京電力ホールディングス(株)に確実に行わせること
- 公共財物賠償についても、実態に見合った的確かつ迅速な賠償を東京電力ホールディングス(株)に確実に行わせること

第4 魅力ある教育環境整備への総合的な関わりと子育て支援強化

- 教育・保育環境の整備・充実について、ハード面及びソフト面での強力な支援を行うこと
- 心のケアや学習指導などのきめ細かな教育支援等を十分行うための教職員加配を継続すること
- 地元の人材育成に欠かせない双葉郡内の高等学校再開に向け、国の積極的な関わりと財政措置を行うこと